

平成16年度

企業における化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰 募集要綱

主催： (社)環境情報科学センター

後援： (社)日本化学会、(財)世界自然保護基金ジャパン、全国消費者団体連絡会、
(株)化学工業日報社、日経エコロジー (順不同)

1. 趣旨

PRTR制度は、事業者が自ら化学物質の排出に係わる環境負荷を把握し、管理の促進を行うとともに、その状況に関して市民の理解を得ることを目的としています。本表彰は、法の趣旨を理解し、率先して化学物質管理を行うとともに、その実施状況に関して積極的に市民の理解を得るためのリスクコミュニケーションを行う等により優れた成果をあげている企業を表彰することによって、以下の3点に資することを目的としています。

- 企業の積極的な化学物質管理を促進すること
- 企業の化学物質の管理に関する市民の理解を得る活動を奨励すること
- 一般市民のPRTR制度に対する理解の促進を図ること

2. 概要

(1) 選考の流れ

応募	PRTR届出を行っている事業所(企業)の自薦・他薦による応募 (平成16年8月2日～9月30日)
一次審査	環境情報科学センターに設置した選考委員会による審査 (平成16年10月)
二次審査	事務局による現地調査後、選考委員会による審査 (平成16年12月)

(2) 表彰の種類

- PRTR 大賞：化学物質管理・リスクコミュニケーションを積極的に行っており、かつ優れた成果を挙げ他の規範となる事業所(企業)に対する表彰
- PRTR 奨励賞：化学物質管理・リスクコミュニケーションについて積極的に努力している事業所(企業)に対する表彰

(3) 表彰式及びシンポジウム

シンポジウムを開催し、表彰式を行います。受賞した事業所(企業)には、シンポジウムで自らの成果や改善結果を発表していただきます。

3. 選考について

(1) 選考委員会

(社)環境情報科学センターに、「企業における化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰選考委員会」を設置します。

[委員長] 安井 至 (国際連合大学)

[委員] 有田芳子 (全国消費者団体連絡会)

北野 大 (淑徳大学国際コミュニケーション学部; 日本化学会推薦)

中地重晴 (環境監視研究所)

福井弘道 (慶應義塾大学総合政策学部)

村田幸雄 (世界自然保護基金ジャパン)

(2) 選考方法

1. 応募書類(様式1、2、3)をもとに選考委員会で第一次審査を行い、第二次審査の候補を選定します。
2. 第二次審査の候補となった事業所(企業)に対して、現地調査(ヒアリング及び現場確認)を行います。
3. 現地調査をもとに第二次選考委員会を行い、PRTR大賞(1件)、PRTR奨励賞(5件以内)を選定します。

(3) 選考基準

- 下記の評価項目について、より優れた取組を表彰します。
- 選考対象となる化学物質の管理、リスクコミュニケーションの活動期間は、平成13年度から15年度内とします。

[化学物質管理に関する評価項目]

- 自社のPRTR対象物質の排出状況について、その増減の主な理由を説明できる
自社の排出状況と生産量との関係等の解析データ
- 環境省や自治体等で公表されているPRTRデータ等を利用して、自社の排出状況を客観的に評価している
地域のPRTRデータ等と自社の排出状況の比較データ
同業種のPRTRデータ等と自社の排出状況の比較データ
- 化学物質管理を組織的に実施している
化学物質管理の組織図
組織の会合記録や伝達記録
化学物質の管理マニュアルの要点

- 原材料の選定や排出量削減計画等の立案にPRTRデータやMSDSを利用している
 - 原材料の選定根拠
 - 排出量削減等の計画書
 - リスク評価の実施を示す資料
- 従業員への化学物質管理に関する教育にPRTRデータやMSDSを利用している
 - 従業員への化学物質管理に関する教育のカリキュラム
 - 従業員への化学物質管理に関する教育の実施記録
 - 従業員への化学物質管理に関する教育に用いている教材
- その他（独自の取組など）

〔リスクコミュニケーションに関する評価項目〕

- PRTRデータを公表または問い合わせに応じて開示している
 - 環境報告書やホームページの該当ページ
 - 問い合わせに応じて開示するPRTRデータの資料
- 化学物質の排出などに関する問い合わせに対応する体制が整備されている
 - 問い合わせを受けてから対応に至るまでのフロー
 - 代表的な問い合わせに対するQ&A
 - 問い合わせの対応マニュアル
- 今後の排出削減目標を公表または問い合わせに応じて開示している
 - 排出削減目標の概要
 - 公表または開示している排出削減目標の資料
- 地域住民、NGO、行政等とPRTRデータ等に関してコミュニケーションを実施している
 - コミュニケーションを実施した記録
 - コミュニケーションを実施する今後の予定
- コミュニケーションの結果を自社の化学物質管理やリスクコミュニケーションに反映している
 - コミュニケーションの結果を反映した具体的な事例を示す資料
- その他（独自の取組など）

4. 応募について

(1) 応募資格

- 平成14、15、16年度のいずれかの年度に、PRTRの届出を行った事業所(企業)
(平成13、14、15年度排出分のいずれかについて届出を行っていること)

PRTRは事業所単位の届出であるが、化学物質管理やリスクコミュニケーションの活動は企業の単位で行っている場合は、企業単位の応募も受け付けます。

(2) 応募方法

- 下記のページから応募書類(様式1～3)をダウンロードし、指示に従って作成してください。

<http://www.ceis.or.jp/hyosho/index.html>

- 応募書類 : 様式 1 (応募用紙) ハードコピー(紙) 1部 及び 電子ファイル
様式 2 (調査票) ハードコピー(紙) 1部 及び 電子ファイル
様式 3 (応募原稿) ハードコピー(紙) 1部 及び 電子ファイル
添付する説明資料 ハードコピー(紙)のみ 各2部

電子ファイルは、Microsoft Office アプリケーションを使用し、ファイル名を明記の上、FDまたはCDで提出してください。

- 提出期間 : 平成16年8月2日～9月30日
- 宛先 : 「PRTR大賞応募書類在中」と明記の上、下記の宛先に提出してください。

〒102-0074
東京都千代田区九段南 4-7-24 トーラント 88 ビル
(社)環境情報科学センター PRTR表彰係

二次審査では、該当する選定基準に関する実態調査のため、さらに詳細な資料の提出をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

5. 選考結果の公表について

(1) 選考結果

- 平成16年12月末日までに受賞事業所(企業)に通知するほか、(社)環境情報科学センターホームページ、機関誌、その他で発表します。

(2) 表彰式及びシンポジウムの開催

- 平成17年1月にシンポジウムを開催し、表彰式を行います。また、受賞した事業所(企業)の取組・成果を発表し、選考委員を交えたパネルディスカッションを行います。

6. 提出された資料等の扱い

選考委員会及び関係者は、審査のために知りえた情報、資料等の内容を、選定の目的以外に使用してはならないものとします。

7. スケジュール

- 募集期間 : 平成16年8月2日~9月30日
- 第一次審査 : 平成16年10月
- 現地調査 : 平成16年11月
- 第二次審査 : 平成16年12月
- 結果発表 : 平成16年12月末
- 表彰式及びシンポジウム : 平成17年1月

8. 問い合わせ先

(社)環境情報科学センター PRTR表彰係 担当:磯部、谷村
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-24 トウラント 88 ビル
Tel: 03-3265-3916 Fax: 03-3234-5407 E-mail: hyosho@ceis.or.jp